強者の戦略

こんにちは、国語科の松崎です。充実した夏休みが過ぎましたか？今回は平成27年、大阪大学(文学部)の問題です。夏の成果を確認してみましよう！

次の文章は、藤原道長が、娘彰子の入内を祝うため、屏風を作ったときのことを述べたものである。道長は、屏風を飾るための和歌を詠むよう、歌人たちに命じた。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、文章は一部改変したところがあります。

今は昔、*女院、内裏へはじめて入らせおはしましけるに、御屏風どもをせさせたまひて、歌よみどもによませさせたまひけるに、四月、藤の花おもしろく咲きたりける*ひらを、*四条大納言、あたりて詠みたまひけるに、その日になりて、人々、歌ども持てまゐりたりけるに、大納言、遅くまゐりければ、御使して、遅きよしをたびたび仰せられつかはす。*権大納言行成、御屏風たまはりて、書くべきよしなしたまひければ、いよいよ立ち居待たせたまふほどに、まゐりたまへれば、*「歌よみども、はかばかしき歌どももえ詠みいでぬにさりととも」と、誰も心にくがりけるに、御前にまゐりたまふや遅きと、殿の、「いかにぞ、あの歌は。遅し」とおほせられければ、「ささらにはかばかしくつかまつらず。悪くてたてまつりたらんは、まゐらせぬには劣りたることなり。歌よむもがらの、すぐれたらんなかに、はかばかしからぬ歌書かれたらむ、ながき名にさぶらふべし」とやうに、いみじく逃れ申したまへど、殿、*「あるべきことにもあらず。異人の歌なくてもありなむ。御歌なくは、おほかた、*色紙形を書くまじきことなり」など、*「まめやかに責め申させたまへば、大納言、「いみじくさぶらふわざかな。*こたみは、誰もえ詠みえぬたびにはべるめり。なかにも*永任をこそ、さりとともと思ひたまひつるに、岸のやなぎといふことを詠みたれば、いと異様なることなりかし。*これらだにかく詠みそこなへば、公任はえ詠みはべらぬもことわりなれば、許したぶべきなり」と、さまざまに逃れ申したまへど、殿、あやにくに責めさせたまへば、大納言、いみじく思ひわづらひて、懐より*陸奥紙に書いてたてまつりたまへば、ひろげて前に置かせたまふに、*帥殿よりはじめて、そこらの上達部・殿上人、*心にくく思ひければ、「さりととも、この大納言は故なくは詠み給はじ」と思ひつつ、いつしか、帥殿、読みあげたまへば、

A むらさきの雲とぞみゆる藤の花いかなるやどのしるしなるらむと読みあげたまふを聞きてなむ、ほめののしりける。②大納言も、殿をはじめ、みな人いみじと思ふ気色を見たまひて、「今なむ、胸すこし落ちるはべりぬ」など申したまひける。

*女院——藤原道長の娘であり、一条天皇の中宮となった上東門院彰子を指す。

*ひら——屏風の一面。

*四条大納言——藤原公任のこと。

*権大納言行成——藤原行成のこと。

*色紙形——屏風に、色紙のかたちを描いて彩色をし、それに歌を書いたもの。

*こたみ——このたび。

*永任——詠者の一人。

*陸奥紙——東北地方で作られた、こうぞ製の上質な紙。

*帥殿——藤原伊周のこと。

(『古本説話集』による)

強者の戦略

問一 傍線部(ア)(イ)(ウ)の語の意味を述べなさい。

問二 傍線部(a)(b)(c)を現代語訳しなさい。

問三 傍線部①②には、公任のどのような気持ちがあられているか、わかりやすく説明しなさい。

問四 Aの歌はどのような内容か、わかりやすく説明しなさい。